

令和4年度 “ふじのくに”^{しみん}士民協働 施策レビュー 改善提案とりまとめシート

1 基本情報

政策	政策6 “才徳兼備”の人づくり		
政策の柱	6-2 次代を担うグローバル人材の育成		
議論した施策	(1) 留学・海外交流の促進		
実施日/班名	9月11日(日) 第5班	担当部局名	スポーツ・文化観光部 総合教育局 教育委員会 教育政策課ほか

2 コーディネーター取りまとめコメント(コーディネーターが議論を総括して取りまとめ)

<p>留学や海外との交流の促進に対して、大きく4つの課題が挙げられた。</p> <p>第一に、<u>留学に関する情報の不足とPRの必要性^①</u>である。留学について一元的にまとめられた情報は少なく、手軽にアクセスできる情報の発信等が必要である。</p> <p>第二に、<u>海外からの留学生の県内定着^②</u>である。海外人材に、県内にとどまるメリットを提示できることが必要である。</p> <p>第三に、<u>奨学金等の金銭的な支援体制の整備^③</u>である。支援資金確保のために民間企業等へも寄附を呼びかけ、連携して取り組んでいくことが必要である。</p> <p>第四に、海外研修の実施である。<u>海外修学旅行による海外経験の場の確保^④</u>とともに、<u>教職員における国際感覚の醸成^⑤</u>も重要である。</p> <p>そのほか、短期留学プランの充実や、語学力向上に繋がるようなイベントの実施などが挙げられた。</p>
--

3 施策改善案(県民評価者が記載した改善提案シートの取りまとめ)

- ①海外留学を促進するため、海外留学に関する情報発信の充実や、留学経験者の声を聞くことのできる機会の提供など、海外留学の理解促進が必要である。
- ②グローバル人材の獲得に向け、外国人留学生の受入促進はもとより、外国人留学生のニーズの把握や、本県に留まるメリットの提示など、県内定着のための対策が必要である。
- ③金銭的支援が必要な海外留学希望者への支援のため、企業等と連携した奨学金制度を創設するなど、海外留学の金銭的サポートを行う必要がある。
- ④学生の国際感覚を醸成するには、留学だけでなく、中高の海外修学旅行の促進等による海外経験の機会の確保が必要である。
- ⑤学生たちを教える教職員に対し、海外研修派遣の促進に加え、海外研修経験者の体験談を共有する場を確保するなど、教職員の国際感覚の醸成が必要である。